

エネルギー環境教育のひろば

北海道エネルギー環境教育研究委員会
組織広報部
2006.12.5発行
第6号



第1回全道研究大会開催

十一月二十二日(水)
札幌市立西岡北小学校
を会場に「生きる力」
を培うエネルギー環境
教育の実践、学校教育
におけるエネルギー環
境教育の在り方につい
て」を研究主題に、
道教委種穂邦彦学校教
育局長、市教委西村正
指導担当部長、文部科
学省上野耕史教科調査
官を来賓に迎え、第一
回北海道エネルギー環



境教育研究大会を開催し、会員
の他、一般参加者や保護者など
二百五十名を超える方々の参加
をえて盛会のうちに終了した。

大会概要

あいにくの雪模様にもかかわらず
早朝よりの多数の参加者の
もと、九時四十五分から開会式
並びに授業のオリエンテーショ
ンを行い、十時四十五分から公
開授業が始まった。
小学校では【社会五年】札幌
市立伏見小学校牧野宜英教諭
「工業生産を支える人々」、【理
科六年】札幌市立大谷地小学校
森剣治教諭「電流が生み出す
力」、【家庭六年】札幌市立上
野幌小学校鷲足和枝教諭「まか
せてねーきょうのごはん」、【総

第三回北海道エネルギー環境教育研究大会開催

本会は平成十四年二月にエ
ネルギー環境教育の推進を図
ることを目的に立ち上げた回
体である。この間、道南支部
と旭川支部が立ち上がり、会
員は二百六十名を超え、教科
校種を越え、幼・小・中・高・
大学まで一堂に会するという
全国にも類を見ない研究団体

へと成長して
きている。本
会はエネルギー
環境教育を
通して将来を担う「ひとづく
り」の実現に向け、社会が変
化しても生き抜く力の育成が
何よりも重要と考え、これを
踏まえた取組を行ってきた。
(中略)
本会が発足して五年目の区
切りの年を迎え、今までの研
究活動の成果を「生きる力を



培うエネルギー環境教育の実
践」のもと第一回エネルギー
環境教育研究大会として発信
する。その中で今後の研究の
道筋が明らかになれば、充実す
ることを願っている。

合六年】札幌市立西岡北小学校
滝野隆太教諭「省エネの輪を地
域に広げよう」の四授業。中学
校では【社会三年】札幌市立八
条中学校若木文博教諭「日本の
エネルギー問題と新エネルギー
」、【理科一年】札幌市立新
川西中学校小路美和教諭「活き
ている地球」、【技術・家庭二
年】札幌市立澄川中学校丸山祐
平教諭「エネルギーの変換と利
用」の三授業を行い、多くの参
加者から授業内容や取組に対し
て高い評価を得た。

「施設見学
ガイドマップ」
調査部会が発刊
第一回研究大会にあわせて、
調査部会では「エネルギー環境
教育施設見学ガイドマップ」を
作成し発刊した。このマップは
札幌市内のエネルギー関連の六
施設を調査したもので、施設の
概要や見学のポイントなどを豊
富な写真や図版を使って紹介
し、見学の申し込み方法等の詳
細も載せている。紹介している
六施設は、北電藻岩発電所、白
石清掃工場、発寒清掃工場、モ
エレ沼公園HIDAMARI、
道熱供給公社地域熱供給システ
ム、リポートサービス北海道で、
すべて児童生徒がエネルギー環
境教育に理解を深めるのに適し
た施設である。マップ(A4版
二十四頁オールカラー)が必要
な方は、左記「エナジートーク
21」に連絡をお願いしたい。

研究発表では、企画部会が、
今までの実践を紹介するととも
に、部会でまとめた「エネルギー
環境教育カリキュラム」をも
とに教科の関連や指導のポイン
トについて研究成果を発表し
た。また、北海道大学エネルギー
教育研究会は「エネルギーと
地球環境」、道南支部は「小学
校におけるエネルギー環境教育
の実践」、西岡北小学校は「環
境教育と省エネタイムの取組か
らう」と題して、それぞれの実
践をもとに発表を行った。
最後に(株)角川総合研究所
取締役事業本部長の魚井一生氏
が「食育とエネルギー環境教育」
と題して記念講演を行った。

北海道エネルギー
環境教育研究委員会
連絡先
北海道エナジートーク21
札幌市中央区北1条西5丁目
北1条三井ビル2F
TEL-011(251)9710
FAX-011(251)3974

2月24日(土)
シンポジウム開催予定
-詳細は後日連絡-